

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分  
 【発行日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【公開番号】特開 2005-126235 (P2005-126235A)  
 【公開日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-019  
 【出願番号】特願 2004-269365 (P2004-269365)  
 【国際特許分類】

**B 6 5 H 1/14 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 H 1/14 3 1 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 11 日 (2007.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転駆動される給送ローラ軸に設けられ、被記録媒体と接して回転することにより被記録媒体を下流側に給送する給送ローラと、

被記録媒体を傾斜姿勢に支持するとともに、被記録媒体を前記給送ローラに圧接させる状態と、前記給送ローラから離間させる状態とを揺動することによって変化可能に設けられるホッパと、を備えた被記録媒体給送装置であって、

被記録媒体と接触する位置に、被記録媒体と接して従動回転する従動ローラを有するとともに、被記録媒体の給送経路を側視して、前記給送経路に対して進退動作可能な部材を前記給送ローラ近傍に備えることにより、前記ホッパが前記給送ローラから離間した状態における前記給送ローラと前記ホッパとの間隔を縮小する手段を有している、ことを特徴とする被記録媒体給送装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、前記進退動作可能な部材が、被記録媒体の給送時には前記給送経路から退避し、被記録媒体の非給送時には前記給送経路に進出して前記隙間を縮小する、ことを特徴とする被記録媒体給送装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、前記進退動作可能な部材が、底面が前記給送経路と対向する様に設けられる箱状体と、

被記録媒体の給送経路を側視して前記箱状体の底部上流側角部に設けられる第 1 の従動ローラ及び底部下流側角部に設けられる第 2 の従動ローラと、を備えて構成されていることを特徴とする被記録媒体給送装置。

【請求項 4】

請求項 3 において、前記第 1 の従動ローラ及び前記第 2 の従動ローラが、前記給送ローラの前記平坦部と前記円弧部との交差位置近傍に配置されている、ことを特徴とする被記録媒体給送装置。

【請求項 5】

請求項 3 または 4 において、前記箱状体が、前記第 2 の従動ローラの回転軸を中心に揺動可能に設けられ、

且つ、前記給送ローラ軸に設けられたカムと係合するカムフォロアを備えたことにより

、前記給送ローラ軸の回転動作に従って揺動動作して前記給送経路に対する進退動作を行う、ことを特徴とする被記録媒体給送装置。

【請求項 6】

回転駆動される給送ローラ軸に設けられ、被記録媒体と接して回転することにより被記録媒体を下流側に給送する給送ローラと、

被記録媒体を支持するとともに、被記録媒体を前記給送ローラに圧接させる状態と、前記給送ローラから離間させる状態とを揺動することによって変化可能に設けられるホッパと、を備えた被記録媒体給送装置であって、

被記録媒体と接触する位置に、被記録媒体と接して従動回転する従動ローラを有するとともに、前記給送経路に対して進退動作可能な部材を前記給送ローラ近傍に備えることにより、前記ホッパが前記給送ローラから離間した状態における前記給送ローラと前記ホッパとの間隔を規定する手段を有している、ことを特徴とする被記録媒体給送装置。

【請求項 7】

被記録媒体に記録を行う記録部を備えた記録装置であって、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載された前記被記録媒体給送装置を備えている、ことを特徴とする記録装置。

【請求項 8】

回転駆動される給送ローラ軸に設けられ、被噴射媒体と接して回転することにより被噴射媒体を下流側に給送する、円弧部と平坦部とを備えて側面視略 D 形の形状を成す給送ローラと、

被噴射媒体を傾斜姿勢に支持するとともに、被噴射媒体を前記給送ローラに圧接させる状態と、前記給送ローラから離間させる状態とを揺動することによって変化可能に設けられるホッパと、

前記給送ローラの下流側に設けられ、被噴射媒体を下流側に搬送する搬送手段と、

前記搬送手段の下流側に設けられ、被噴射媒体に液体噴射を行う液体噴射手段と、を有する液体噴射装置であって、

被噴射媒体と接触する位置に、被噴射媒体と接して従動回転する従動ローラを有するとともに、被噴射媒体の給送経路を側視して、前記給送経路に対して進退動作可能な部材を前記給送ローラ近傍に備えることにより、前記ホッパが前記給送ローラから離間した状態における前記給送ローラと前記ホッパとの間隔を縮小する手段を有している、ことを特徴とする液体噴射装置。